

くすいばこ

薬剤部
弓削 理恵子



77. 口の中で溶ける薬（口腔内崩壊錠）のおはなし

近年、患者さんが服用しやすい“口の中で溶ける薬（口腔内崩壊錠）”が増えてきています。

口腔内崩壊錠は、唾液や少量の水で速やかに口の中で溶けますので、高齢者や飲み込む力が弱まっている方などでも無理なく服用できるように配慮され、唾液で溶かして水なしでまたは少量の水で服用できる製剤です。今回は、口の中で溶けるなど工夫された薬の特徴についてお話させていただこうと思います。

口腔内崩壊錠について

従来よりある錠剤、カプセル剤、散剤といった飲み薬は、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用する必要がありました。近年では薬の形や投与の仕方を工夫して飲みやすくしたり、薬の効果を高めることが出来る薬が開発されています。口腔内崩壊錠は日本では医療用医薬品として1997年に開発され、現在では一般医薬品を含めOOD錠（Disintegrating: 崩壊する）、OOD錠（Oral Disintegration: 口腔内で崩壊する）などといった販売名で様々な成分の薬が販売されています。また口腔内崩壊錠には以下のような長所や短所があり、服用時には注意も必要です。

口腔内崩壊錠の長所

- ・高齢者など飲み込むことが難しい方でも服用しやすい。
- ・水分摂取を制限されている場合でも、無理なく服用できる。
- ・水にすぐ溶けるため、経管栄養チューブが入っている患者さんへの投与も容易に行える。
- ・外出先でも服用しやすい。



出典：医薬品医療機器情報提供ホームページ
(http://www.info.pmda.go.jp/medsqa/hanashi_q10.html)

口腔内崩壊錠の短所

- ・普通の錠剤と比べると壊れやすく吸湿しやすいため、一包化（服用毎に複数の薬をパックする）にできない薬もある。
- ・普通の錠剤と同時に飲まなければならない時、味が混ざって飲みづらい。
- ・全ての薬に口腔内崩壊錠の剤形があるわけではない。

口腔内崩壊錠の注意点

- ・口腔粘膜からは吸収されないため、効果発現が早まることはありません。
- ・水なしで飲んでも、従来どおり水で飲んでも効果に差はありません。
- ・寝たきりの患者さんなど、寝たままの状態では水なしでは服用させないでください。

また、口腔内崩壊錠以外にも飲みやすさや効果を考えて工夫されている錠剤があります。チュアブル錠は噛み砕いて唾液で溶かす薬で、唾液や少量の水で溶けやすく水がなくても飲めるようになっています。また舌の下に薬を入れて溶かす舌下錠や、歯と歯茎の間に挟んで口腔粘膜から薬の成分を吸収させるバツカル錠という錠剤もあります。

すべての薬がこのような剤形に変わった訳ではなく、以前からある薬の中には、胃では溶けずに腸で溶けるように工夫された腸溶錠や薬の効果が長く続くように加工された徐放錠などがあります。かんたんに砕いたりすると副作用が出やすくなる可能性があるため、かまずに水やぬるま湯で飲む必要があります。それぞれお薬の成分や目的に合わせて工夫された錠剤のため、服用の際はかかりつけの医師や薬局の薬剤師から飲み方をよく聞いて服用してください。

【参考資料】製薬メーカー各資料